

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-272764

(43) 公開日 平成11年(1999)10月8日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	F I	
G 0 6 F 19/00		G 0 6 F 15/30	Z
		G 0 7 D 9/00	4 6 1 A
G 0 7 D 9/00	4 6 1	G 0 6 F 15/21	Z
G 0 7 F 7/08			3 4 0 D
		G 0 7 F 7/08	R
審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 14 頁)			

(21) 出願番号 特願平10-69905

(22) 出願日 平成10年(1998)3月19日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

(71) 出願人 598036780

株式会社名古屋銀行

愛知県名古屋市中区錦三丁目19番17号

(72) 発明者 坂井 慶市

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

(74) 代理人 弁理士 岡田 光由 (外1名)

最終頁に続く

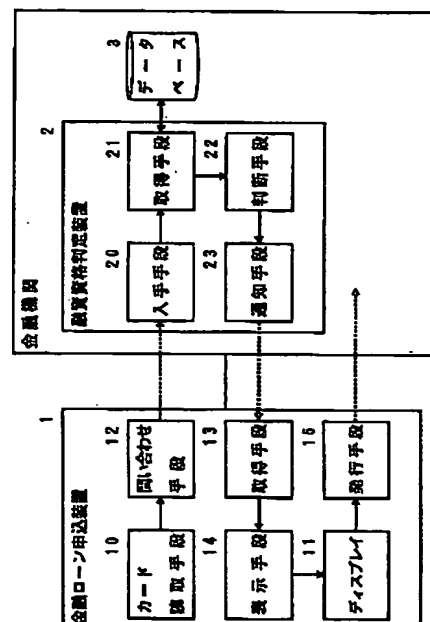
(54) 【発明の名称】 金融ローン申込装置、融資資格判定装置及びプログラム記録媒体

(57) 【要約】

【課題】本発明は、金融機関の発行する取引カードを使って、金融ローンの申し込みを行うことができるようにする金融ローン申込装置の提供を目的とする。

【解決手段】入力された取引カードの所有者が規定の融資対象者に該当するのかを、金融機関のホストコンピュータに問い合わせる問い合わせ手段12と、問い合わせ手段12の問い合わせに応答して金融機関のホストコンピュータから送られてくる問い合わせ結果が規定の融資対象者であることを示すときに、金融ローンの申込画面をディスプレイに表示する表示手段14と、表示手段14の表示する金融ローン申込画面に対して入力される入力情報を使って、金融ローンの申込書の作成指示を発行する発行手段15とを備えるように構成する。

本発明の原理構成図



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 金融機関の発行する取引カードを使って、金融ローンの申し込みを行う金融ローン申込装置であって、

入力された取引カードの所有者が規定の融資対象者に該当するのかを、金融機関のホストコンピュータに問い合わせる問い合わせ手段と、

上記問い合わせ手段の問い合わせに回答して上記ホストコンピュータから送られてくる問い合わせ結果が規定の融資対象者であることを示すときに、金融ローンの申込画面をディスプレイに表示する表示手段と、

上記表示手段の表示する金融ローン申込画面に対して入力される入力情報を使って、金融ローンの申込書の作成指示を発行する発行手段とを備えることを、

特徴とする金融ローン申込装置。

【請求項 2】 請求項 1 記載の金融ローン申込装置において、

表示手段は、問い合わせ結果の示す融資対象者種別に応じたローン条件を持つ金融ローン申込画面を表示することを、

特徴とする金融ローン申込装置。

【請求項 3】 金融機関の発行する取引カードを使って、融資対象者であるのか否かを判定する融資資格判定装置であって、

融資依頼発行元の端末から送られてくる取引カードの記録データを入手する入手手段と、

上記入手手段の入手する記録データを検索キーにして、金融取引のデータベースにアクセスすることで、上記取引カードの所有者の取引情報を取得する取得手段と、

上記取得手段の取得する取引情報が規定の取引内容を充足しているのか否かを判断することで、上記取引カードの所有者が融資対象者に該当するののか否かを判断する判断手段と、

上記判断手段の判断結果を融資依頼発行元の端末に通知する通知手段とを備えることを、

特徴とする融資資格判定装置。

【請求項 4】 請求項 3 記載の融資資格判定装置において、

判断手段は、取得手段の取得する取引情報に従って、融資対象者の融資レベルについても判断することを、

特徴とする融資資格判定装置。

【請求項 5】 金融機関の発行する取引カードを使って、金融ローンの申し込みを行う金融ローン申込装置の実現に用いられるプログラムが格納されるプログラム記録媒体であって、

入力された取引カードの所有者が規定の融資対象者に該当するのかを、金融機関のホストコンピュータに問い合わせる問い合わせ処理と、

上記問い合わせ処理の問い合わせに回答して上記ホストコンピュータから送られてくる問い合わせ結果が規定の

融資対象者であることを示すときに、金融ローンの申込画面をディスプレイに表示する表示処理と、

上記表示処理の表示する金融ローン申込画面に対して入力される入力情報を使って、金融ローンの申込書の作成指示を発行する発行処理とをコンピュータに実行させるプログラムが格納されることを、

特徴とするプログラム記録媒体。

【請求項 6】 金融機関の発行する取引カードを使って、融資対象者であるのか否かを判定する融資資格判定装置の実現に用いられるプログラムが格納されるプログラム記録媒体であって、

融資依頼発行元の端末から送られてくる取引カードの記録データを入手する入手処理と、

上記入手処理の入手する記録データを検索キーにして、金融取引のデータベースにアクセスすることで、上記取引カードの所有者の取引情報を取得する取得処理と、

上記取得処理の取得する取引情報が規定の取引内容を充足しているのか否かを判断することで、上記取引カードの所有者が融資対象者に該当するののか否かを判断する判断処理と、

上記判断処理の判断結果を融資依頼発行元の端末に通知する通知処理とをコンピュータに実行させるプログラムが格納されることを、

特徴とするプログラム記録媒体。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、金融ローンの申し込みを行う金融ローン申込装置と、融資対象者であるのか否かを判定する融資資格判定装置と、それらの装置の実現に用いられるプログラムが格納されるプログラム記録媒体とに関し、特に、金融機関の発行する取引カードを使って、金融ローンの申し込みを行うことができるようにする金融ローン申込装置と、金融機関の発行する取引カードを使って、融資対象者であるのか否かを判定できるようにする融資資格判定装置と、それらの装置の実現に用いられるプログラムが格納されるプログラム記録媒体とに関する。

【0002】 銀行のような大手の金融機関でも、小口の金融ローンを取り扱うようになりつつある。このような小口の金融ローンの販売を促進するためには、その申し込み方法の簡略化を図る必要がある。

【0003】

【従来の技術】 銀行のような大手の金融機関では、従来、金融ローンを融資する場合には、融資先となる顧客の信用をチェックするために、顧客に来店してもらい、ローン条件を説明するとともに、信用情報機関への問い合わせの承諾をとってから、金融ローンの申込書に必要な事項を記入してもらうという方法を採用している。

【0004】 その後、信用情報機関に対して、金融ローンを申し込んだ顧客の信用を問い合わせ、信用上問題

がないときには、金融ローンの融資を実行するという方法を探っている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】確かに、大口の金融ローンを融資するときには、従来のように、融資先となる顧客に来店してもらって、顧客の信用を直接確認していく方法を探ることが安全である。

【0006】しかしながら、そのような方法を探っていると、顧客に来店することを強いることから、金融ローンの申し込みが促進されないという問題点がある。これから、小口の金融ローンの商品を開発しても、その商品の販売が促進されないという問題点があった。

【0007】本発明はかかる事情に鑑みてなされたものであって、金融機関の発行する取引カードを使って、金融ローンの申し込みを行うことができるようにする新たな金融ローン申込装置の提供と、金融機関の発行する取引カードを使って、融資対象者であるのか否かを判定できるようにする融資資格判定装置の提供と、それらの装置の実現に用いられるプログラムが格納される新たなプログラム記録媒体の提供とを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】図 1 に本発明の原理構成を図示する。図中、1 は本発明を具備する金融ローン申込装置であって、金融機関の発行する取引カードを使って金融ローンの申し込みを行うもの、2 は本発明を具備する融資資格判定装置であって、金融機関のホストコンピュータ上に展開されて、金融機関の発行する取引カードを使って融資対象者であるのか否かを判定するもの、3 は金融機関の備えるデータベースであって、顧客の金融取引情報を管理するものである。

【0009】金融ローン申込装置 1 は、カード読取手段 10 と、ディスプレイ 11 と、問い合わせ手段 12 と、取得手段 13 と、表示手段 14 と、発行手段 15 とを備える。

【0010】このカード読取手段 10 は、顧客の所有する取引カードの記録データを読み取る。ディスプレイ 11 は、顧客に情報を掲示する。問い合わせ手段 12 は、取引カードの所有者（顧客）が規定の融資対象者に該当するのかを融資資格判定装置 2 に問い合わせる。取得手段 13 は、問い合わせ手段 12 の問い合わせに回答して融資資格判定装置 2 から送られてくる問い合わせ結果を取得する。表示手段 14 は、金融ローンの申込画面をディスプレイ 11 に表示する。発行手段 15 は、金融機関のローンセンターなどに対して金融ローンの申込書の作成指示を発行する。

【0011】一方、融資資格判定装置 2 は、入手手段 20 と、取得手段 21 と、判断手段 22 と、通知手段 23 とを備える。この入手手段 20 は、金融ローン申込装置 1 から送られてくる取引カードの記録データを入手する。取得手段 21 は、データベース 3 にアクセスするこ

とで、取引カードの所有者の取引情報を取得する。判断手段 22 は、取引カードの所有者が融資対象者に該当するの否かを判断する。通知手段 23 は、判断手段 22 の判断結果を金融ローン申込装置 1 に通知する。

【0012】ここで、本発明の金融ローン申込装置 1 の持つ機能や、本発明の融資資格判定装置 2 の持つ機能は、具体的にはプログラムで実現されるものであり、このプログラムは、フロッピディスクなどに格納されたり、サーバなどのディスクなどに格納され、それらから金融ローン申込装置 1 や融資資格判定装置 2 にインストールされてメモリ上で動作することで、本発明を実現することになる。

【0013】このように構成される本発明の金融ローン申込装置 1 では、カード読取手段 10 が取引カードの記録データを読み取ると、問い合わせ手段 12 は、読み取られた記録データを送信しつつ、読み取られた取引カードの所有者が規定の融資対象者に該当するのかを融資資格判定装置 2 に問い合わせる。

【0014】この問い合わせを受けて、本発明の融資資格判定装置 2 では、入手手段 20 が金融ローン申込装置 1 から送られてくる取引カードの記録データを入手すると、取得手段 21 は、入手手段 20 の入手する記録データを検索キーにして、データベース 3 にアクセスすることで、取引カードの所有者の取引情報を取得する。

【0015】そして、判断手段 22 は、取得手段 21 の取得する取引情報が規定の取引内容を充足しているの否かを判断することで、取引カードの所有者が融資対象者に該当するの否かを判断し、通知手段 23 は、その判断結果を金融ローン申込装置 1 に通知する。

【0016】ここで、判断手段 22 は、取得手段 21 の取得する取引情報に従って、融資対象者の融資レベルについても判断することがある。この通知を受けて、本発明の金融ローン申込装置 1 では、取得手段 13 が融資資格判定装置 2 から通知される融資対象者情報を取得すると、表示手段 14 は、その通知が規定の融資対象者であることを示すときには、金融ローンの申込画面をディスプレイ 11 に表示し、規定の融資対象者でないことを示すときには、金融ローンの申込書を郵送する旨をディスプレイ 11 に表示する。

【0017】そして、発行手段 15 は、表示手段 14 の表示する金融ローン申込画面に回答して入力される入力情報を使って、金融機関のローンセンターなどに対して、金融ローンの申込書の作成指示を発行する。

【0018】ここで、表示手段 14 は、問い合わせ結果の示す融資対象者種別に応じたローン条件を持つ金融ローン申込画面を表示することがある。このように、本発明によれば、金融機関の発行する取引カードを使って、顧客の信用チェックの自動化を実現しつつ、自動預金支払機（ＡＴＭ）などの端末から金融ローンの申し込みを行うことができるようになることで、顧客が来店せずに

金融ローンの申し込みが行え、これにより、小口の金融ローンの商品の販売を促進できるようになる。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、実施の形態に従って本発明を詳細に説明する。図2に本発明の適用される銀行システムのシステム構成を図示する。

【0020】この図に示すように、本発明の適用される銀行システムは、取引データベース40にアクセスすることで銀行業務を遂行するメインコンピュータ30と、メインコンピュータ30と接続されて、預金の自動支払いなどの処理を実行する自動預金支払機(ATM)50とで構成されており、好ましくは、メインコンピュータ30にアクセスされる住所データベース60を備えている。

【0021】ここで、図中に示すローンセンター70は、銀行ローンの事務処理を司る部門であり、保証会社80は、銀行ローンの保証を請け負う外部機関である。このメインコンピュータ30には、本発明を実現するために用意されるカードローン取扱プログラム31と、カードローン取扱プログラム31からの指示に従って銀行ローンの申込書を印刷するプリンタ32とが備えられている。また、自動預金支払機50には、従来から行われているATM処理を実行するとともに、本発明を実現するために必要な処理を実行するATMプログラム51と、ユーザとの間の対話手段となるディスプレイ52とが備えられている。

【0022】ここで、カードローン取扱プログラム31やATMプログラム51は、フロッピーディスクや回線などを介してインストールされることになる。取引データベース40は、これまでの銀行システムでも備えられているものであり、図3に示すように、口座番号を検索キーにして、その口座番号の顧客と同居する家族の持つ口座番号や、口座番号を発行した支店名や、顧客の設定した暗証番号や、顧客の氏名や、顧客の性別や、顧客の生年月日や、顧客の住所や、顧客の電話番号や、顧客の勤務先とその勤務先の電話番号や、通帳に記入されることになる顧客の取引履歴や、顧客の各種取扱情報(公共料金の支払いの申し込み情報や、住宅融資の情報や、定期預金の情報などの取扱情報)などの情報を管理する。

【0023】一方、住所データベース60は、電話帳と同一のデータ構造を有しており、電話番号を検索キーにして、その電話番号の指す住所を管理するものである。この住所データベース60を備えるのは、後述するように、顧客が住所変更届けを提出しない場合を考慮しているからである。

【0024】図4ないし図6に、自動預金支払機50に展開されるATMプログラム51の実行する処理フローの一実施例、図7ないし図10に、メインコンピュータ30に展開されるカードローン取扱プログラム31の実行する処理フローの一実施例を図示する。次に、これら

の処理フローに従って、本発明について詳細に説明する。

【0025】ATMプログラム51は、図11(a)に示すメニュー画面をディスプレイ52に表示しているときに、メニュー画面の持つ「カードローンのお申し込み」ボタンが操作されることで、顧客よりカードローンの申込要求が発行されると、図4ないし図6の処理フローに示すように、まず最初に、ステップ1で、図11(b)に示すようなカードローンの紹介画面をディスプレイ52に表示することで、カードローンの商品内容を顧客に知らせる。

【0026】このカードローンの紹介画面の持つ「確認」ボタンが操作されると、続いて、ステップ2で、銀行カードの挿入を指示するとともに、暗証番号の入力を指示する図12(a)に示すような入力指示画面をディスプレイ52に表示し、続くステップ3で、この入力指示画面の表示に应答して、顧客が銀行カードを挿入するとともに、暗証番号を入力してくることを確認すると、ステップ4に進んで、挿入された銀行カードの記録データと、入力された暗証番号とを通知しつつ、メインコンピュータ30のカードローン取扱プログラム31に対して、カードローンの申し込み要求を発行する。

【0027】このカードローンの申し込み要求の発行に应答して、後述するように、カードローン取扱プログラム31は、入力された暗証番号が予め登録されている暗証番号と一致するの可否かを判断するとともに、挿入された銀行カードの顧客がカードローンの貸し出しの年齢制限を超えていないの可否かを判断し、それらの条件が充足されることを条件にして、挿入された銀行カードの顧客が指定の顧客であるの可否かを判断して、指定の顧客であることを判断するときには、それに応じたカードローンのローン条件を返信し、指定の顧客でないことを判断するときには、その旨を返信してくる。

【0028】これから、ATMプログラム51は、続くステップ5で、カードローン取扱プログラム31からの返信を待つて、この返信があると、ステップ6に進んで、戻ってきた返信が暗証番号の一致を示しているの可否かを判断して、暗証番号の不一致を示していることを判断するときには、そのまま処理を終了し、暗証番号の一致を示していることを判断するときには、ステップ7に進んで、その返信がカードローンの貸し出しの年齢制限に入ることを示しているの可否かを判断して、年齢制限に入らないことを示していることを判断するときには、そのまま処理を終了する。

【0029】ここで、暗証番号の不一致であるときには、直ちに処理を終了するのではなくて、規定の回数まで、暗証番号の再入力を指示するといった方法を探ることも可能である。

【0030】カードローン取扱プログラム31からの返信が、暗証番号の一致を示しているとともに、年齢制限

の充足を示していることを判断するときには、ステップ 8 に進んで、その返信が指定の顧客であることを示しているのか否かを判断する。

【0031】このステップ 8 で、カードローン取扱プログラム 3 1 からの返信が指定の顧客であることを示していることを判断すると、ステップ 9（図 5 の処理フロー）に進んで、個人信用情報機関の利用の同意を得るために、図 1 2（b）に示すような個人信用情報機関の利用同意画面をディスプレイ 5 2 に表示する。

【0032】この個人信用情報機関の利用同意画面の表示に回答して、顧客が「同意する」ボタンか、「同意しない」ボタンのいずれかを操作してくるので、続くステップ 1 0 で、「同意する」ボタンが操作されたのか否かを判断して、「同意する」ボタンではなくて「同意しない」ボタンが操作されたことを判断するときには、ステップ 1 1 に進んで、カードローン取扱プログラム 3 1 に対して、処理終了を通知して、処理を終了する。

【0033】一方、ステップ 1 0 で、「同意する」ボタンが操作されたことを判断するときには、ステップ 1 2 に進んで、カードローン取扱プログラム 3 1 からの返信内容の指定するローン条件を持つカードローンの申し込み画面をディスプレイ 5 2 に表示する。例えば、年 7.5 % の金利で、1 0 万円、2 0 万円、3 0 万円、4 0 万円、5 0 万円の金額を借りることが可能であるということを示す、図 1 3（a）に示すようなカードローンの申し込み画面をディスプレイ 5 2 に表示するのである。

【0034】このカードローンの申し込み画面の表示に回答して、顧客がローン金額のボタンを操作してくるので、続くステップ 1 3 で、ローン金額の入力を待って、ローン金額が入力されてくることを確認すると、ステップ 1 4 に進んで、後日、正式な申込書を送付することを説明する図 1 3（b）に示すようなカードローンの申し込み手続き画面をディスプレイ 5 2 に表示する。

【0035】このカードローンの申し込み手続き画面の持つ「確認」ボタンが操作されると、続いて、ステップ 1 5 で、自宅及び勤務先の電話番号の入力を指示する図 1 4 に示すような電話番号入力画面をディスプレイ 5 2 に表示し、続くステップ 1 6 で、この電話番号入力画面の表示に回答して、顧客が自宅及び勤務先の電話番号を入力してくるのを待って、この電話番号が入力されてくることを確認すると、ステップ 1 7 に進んで、入力されたローン金額と、入力された自宅及び勤務先の電話番号とを通知しつつ、カードローン取扱プログラム 3 1 に対して、カードローンの申込書の作成を指示して、処理を終了する。

【0036】一方、ステップ 8（図 4 の処理フロー）で、カードローン取扱プログラム 3 1 からの返信が指定の顧客でないことを示していることを判断するときには、ステップ 1 8（図 6 の処理フロー）に進んで、カードローンの申込書の送付を説明する図 1 5（a）に示す

ようなカードローンの申し込み手続き画面をディスプレイ 5 2 に表示する。

【0037】このカードローンの申し込み画面の表示に回答して、顧客が「送付希望」ボタンか、「不要」ボタンのいずれかを操作してくるので、続くステップ 1 9 で、「送付希望」ボタンが操作されたのか否かを判断して、「送付希望」ボタンではなくて「不要」ボタンが操作されたことを判断するときには、ステップ 2 3 に進んで、カードローン取扱プログラム 3 1 に対して、処理終了を通知する。

【0038】一方、「送付希望」ボタンが操作されたことを判断するときには、ステップ 2 0 に進んで、自宅の電話番号の入力を指示する図 1 5（b）に示すような電話番号入力画面をディスプレイ 5 2 に表示し、続くステップ 2 1 で、この電話番号入力画面の表示に回答して、顧客が自宅の電話番号を入力してくるのを待って、電話番号が入力されてくることを確認すると、ステップ 2 2 に進んで、入力された自宅の電話番号を通知しつつ、カードローン取扱プログラム 3 1 に対して、カードローンの申込書の郵送を指示して、処理を終了する。

【0039】このようにして、自動預金支払機 5 0 の A T M プログラム 5 1 は、顧客よりカードローンの申込要求が発行されると、メインコンピュータ 3 0 のカードローン取扱プログラム 3 1 に対して、指定の顧客であるのか否かを問い合わせ、指定の顧客であることを判断するときには、顧客からローン金額と自宅及び勤務先の電話番号を取得して、それらを通知しつつ、カードローン取扱プログラム 3 1 に対して、カードローンの申込書の作成を指示し、指定の顧客でないことを判断するときには、顧客から自宅の電話番号を取得して、それを通知しつつ、カードローン取扱プログラム 3 1 に対して、カードローンの申込書の郵送を指示するのである。

【0040】次に、図 7 ないし図 1 0 に示す処理フローに従って、メインコンピュータ 3 0 に展開されるカードローン取扱プログラム 3 1 の実行する処理について説明する。

【0041】カードローン取扱プログラム 3 1 は、A T M プログラム 5 1 から、図 4 の処理フローのステップ 4 の処理に従って、銀行カードの記録データと暗証番号とを指定しつつ、顧客に対するカードローンの申込要求が発行されると、図 7 ないし図 1 0 の処理フローに示すように、まず最初に、ステップ 1 で、取引データベース 4 0 から、その記録データの示す口座番号の持つ情報（図 3 に示したもの）を読み出す。

【0042】続いて、ステップ 2 で、ステップ 1 で読み出した暗証番号と、A T M プログラム 5 1 から通知される暗証番号とが一致するのか否かを判断して、一致しないことを判断するときには、ステップ 3 に進んで、A T M プログラム 5 1 に対して、暗証番号が一致しない旨を通知して、処理を終了する。

【0043】一方、ステップ2で、入力した暗証番号と登録の暗証番号とが一致することを判断するときには、ステップ4に進んで、ステップ1で読み出した顧客の生年月日から顧客の年齢を求めて、その求めた顧客の年齢が20歳から60歳の間にあるのか否かを判断して、この年齢範囲に入らないことを判断するときには、ステップ5に進んで、ATMプログラム51に対して、貸し出しの年齢制限を超えている旨を通知して、処理を終了する。

【0044】ステップ4で、顧客の年齢が規定の年齢範囲に入ることを判断するときには、ステップ6に進んで、ステップ1で読み出した情報から、顧客が5年以上の返済期間を持つ住宅融資を受けていて、かつ、それに対して延滞なく返済を行っているのか否かを判断して、その条件を満たす場合には、指定の顧客であると判断して、ステップ7に進んで、ATMプログラム51に対して、その条件の規定するローン条件（例えば、50万円までの融資が可能で、通常よりも3%優遇した年7.5%の金利といったようなローン条件）を通知する。

【0045】一方、ステップ6で、顧客が5年以上の返済期間を持つ住宅融資を受けていて、かつ、それに対して延滞なく返済を行っているという条件に該当しないことを判断するときには、ステップ8（図8の処理フロー）に進んで、ステップ1で読み出した情報から、顧客が5年未満の返済期間を持つ住宅融資を受けていて、かつ、それに対して延滞なく返済を行っているのか否かを判断して、その条件を満たす場合には、指定の顧客であると判断して、ステップ9に進んで、ATMプログラム51に対して、その条件の規定するローン条件（例えば、30万円までの融資が可能で、通常よりも3%優遇した年7.5%の金利といったようなローン条件）を通知する。

【0046】一方、ステップ8で、顧客が5年未満の返済期間を持つ住宅融資を受けていて、かつ、それに対して延滞なく返済を行っているという条件に該当しないことを判断するときには、ステップ10に進んで、ステップ1で読み出した情報から、顧客に対して規定額以上の給与振込みがあるのか否かを判断して、その条件を満たす場合には、指定の顧客であると判断して、ステップ11に進んで、ATMプログラム51に対して、その条件の規定するローン条件（例えば、30万円までの融資が可能で、通常よりも2%優遇した年8.5%の金利といったようなローン条件）を通知する。

【0047】一方、ステップ10で、顧客に対して規定額以上の給与振込みがあるという条件に該当しないことを判断するときには、ステップ12に進んで、ステップ1で読み出した情報から、顧客の同居家族に、5年以上の返済期間を持つ住宅融資を受けていて、かつ、それに対して延滞なく返済を行っている者がいるのか否かを判断して、その条件を満たす場合には、指定の顧客であ

ると判断して、ステップ13に進んで、ATMプログラム51に対して、その条件の規定するローン条件（例えば、20万円までの融資が可能で、通常よりも1%優遇した年9.5%の金利といったようなローン条件）を通知する。

【0048】一方、ステップ12で、顧客の同居家族に、5年以上の返済期間を持つ住宅融資を受けていて、かつ、それに対して延滞なく返済を行っている者がいるという条件に該当しないことを判断するときには、ステップ6/ステップ8/ステップ10/ステップ12で判断する条件のいずれにも該当しないことで、最終的に指定の顧客ではないと判断して、ステップ14に進んで、ATMプログラム51に対して、その旨を通知する。

【0049】このようにして、ステップ7/ステップ9/ステップ11/ステップ13の処理に従って、ATMプログラム51に対して、指定の顧客であることを示すローン条件を通知すると、ATMプログラム51は、上述したように、図5の処理フローのステップ13の処理に従って、処理終了を返信してくるか、図5の処理フローのステップ17の処理に従って、入力されたローン金額と、入力された自宅及び勤務先の電話番号とを通知しつつ、カードローンの申込書の作成の指示を返信してくる。

【0050】これから、ステップ7/ステップ9/ステップ11/ステップ13の処理に従って、ATMプログラム51に対して、指定の顧客であることを示すローン条件を通知すると、ステップ15（図9の処理フロー）に進んで、ATMプログラム51からの返信を待って、この返信を受け取ると、ステップ16に進んで、その返信がカードローンの申込書の作成を指示しているのか否かを判断して、指示していないことを判断するとき、すなわち、その返信が処理終了を示していることを判断するときには、そのまま処理を終了する。

【0051】一方、ステップ16で、ATMプログラム51からの返信がカードローンの申込書の作成を指示していることを判断するときには、ステップ17に進んで、通知された自宅電話番号を検索キーにして住所データベース60を検索することで、住所データベース60から顧客の住所を読み出し、続くステップ18で、この読み出した顧客の住所と、ステップ1で取引データベース40から読み出した顧客の住所とが一致するのかがチェックすることで、顧客の住所に変更がないのか否かを判断する。すなわち、顧客が住所変更を届けなくてもあるので、住所データベース60を使って顧客の住所に変更がないのか否かをチェックするのである。

【0052】このステップ18で、顧客の住所に変更がないことを判断するときには、ステップ19に進んで、ステップ1で読み出した情報の中から、カードローンの申し込みに必要な住所を含む情報（氏名や生年月日など）を抽出して、それらの情報と、ATMプログラム

51から通知されたローン金額及び電話番号とを使って、図16に示すようなカードローンの申込書を作成し、プリンタ32を使ってそれを印刷して、処理を終了する。

【0053】一方、ステップ18で、顧客の住所に変更があることを判断するときには、ステップ20に進んで、ステップ1で読み出した情報の中から、カードローンの申し込みに必要な住所以外の情報（氏名や生年月日など）を抽出して、それらの情報と、ATMプログラム51から通知されたローン金額及び電話番号とを使い、住所欄を空白にしつつ、カードローンの申込書を作成し、プリンタ32を使ってそれを印刷して、処理を終了する。なお、このとき、住所データベース60から検索した顧客の住所を住所欄に印刷するようにしてもよい。

【0054】このようにして作成されるカードローンの申込書は、図2に示すように、銀行のローンセンター70に送られることになる。このカードローンの申込書を受け取ると、ローンセンター70は、顧客に電話をかけて、本人確認を行うとともに、借入意思や勤務先や勤続年数を確認し、更に、住所が変更されているときには、住所を確認して申込書に記入する。

【0055】そして、個人信用情報機関に対して、顧客の信用を問い合わせ、その後、図2に示すように、保証会社80の保証の許諾を得てから、顧客に対して、正式のカードローンの申込書（新たに印刷してもよいし、カードローン取扱プログラム31の印刷したものをそのまま用いてもよい）を送付して、それに対して、自筆によるサインをしてもらったり、届けてある印鑑を捺印してもらってから、郵送や最寄りの営業店に持参してもらうことになる。

【0056】このようにして、本発明によれば、これまでの取引から信用のあると判断される指定の顧客については、営業店へ来店してもらわなくても、自動預金支払機50を使って、カードローンを申し込めるようになる。

【0057】一方、図8の処理フローのステップ14で、ATMプログラム51に対して、指定の顧客でないことを通知すると、ATMプログラム51は、上述したように、図6の処理フローのステップ23の処理に従って、処理終了を返信してくるか、図6の処理フローのステップ22の処理に従って、入力された自宅の電話番号を通知しつつ、カードローンの申込書の郵送指示を返信してくる。

【0058】これから、ステップ14の処理に従って、ATMプログラム51に対して、指定の顧客でないことを通知すると、ステップ21（図10の処理フロー）に進んで、ATMプログラム51からの返信を待つて、この返信を受け取ると、ステップ22に進んで、その返信がカードローンの申込書の郵送を指示しているのか否か

を判断して、指示していないことを判断するとき、すなわち、その返信が処理終了を示していることを判断するときには、そのまま処理を終了する。

【0059】一方、ステップ22で、ATMプログラム51からの返信がカードローンの申込書の郵送を指示していることを判断するときには、ステップ23に進んで、通知された自宅電話番号を検索キーにして住所データベース60を検索することで、住所データベース60から顧客の住所を読み出し、続くステップ24で、この読み出した顧客の住所と、ステップ1で取引データベース40から読み出した顧客の住所とが一致するの否かをチェックすることで、顧客の住所に変更がないの否かを判断する。すなわち、顧客が住所変更を届けないこともあるので、住所データベース60を使って顧客の住所に変更がないの否かをチェックするのである。

【0060】このステップ24で、顧客の住所に変更がないことを判断するときには、ステップ25に進んで、ステップ1で読み出した住所を郵送先として通知しつつ、ローンセンター70に対して、カードローンの申込書の郵送を指示して、処理を終了する。

【0061】一方、ステップ24で、顧客の住所に変更があることを判断するときには、ステップ26に進んで、顧客の住所変更の可能性を明示しつつ、ATMプログラム51から通知された顧客の電話番号を通知しながら、ローンセンター70に対して、カードローンの申込書の郵送を指示して、処理を終了する。

【0062】このカードローンの申込書の郵送指示を受けて、ローンセンター70は、顧客に対して、カードローンの申込書を郵送（住所変更されているときには、電話により住所を問い合わせる）し、それを持参して営業店に来店してもらうことで、カードローンの申し込みの手続きをしてもらうことになる。

【0063】このようにして、本発明によれば、これまでの取引から信用のある顧客と判断されない顧客については、営業店へ来店してもらって、カードローンを申し込む形態をとることで、不良な貸し付けを防止できるようにする。

【0064】図示実施例に従って本発明を説明したが、本発明はこれに限定されるものではない。例えば、実施例では、銀行ローンの申し込みを一例にして本発明を説明したが、本発明は銀行ローンの申し込みにその適用が限られるものではない。

【0065】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、金融機関の発行する取引カードを使って、顧客の信用チェックの自動化を実現しつつ、自動預金支払機（ATM）などの端末から金融ローンの申し込みを行うことができるようになることで、顧客が来店せずに金融ローンの申し込みが行え、これにより、小口の金融ローンの商品の販売を促進できるようになる。

【図面の簡単な説明】

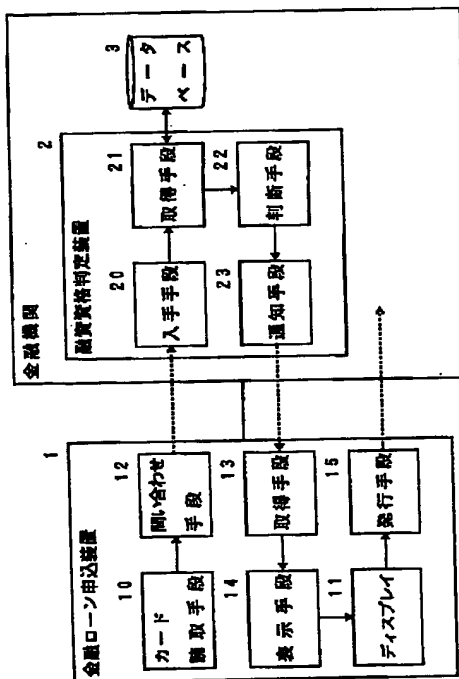
- 【図 1】 本発明の原理構成図である。
 【図 2】 銀行システムの説明図である。
 【図 3】 取引データベースの説明図である。
 【図 4】 ATMプログラムの実行する処理フローである。
 【図 5】 ATMプログラムの実行する処理フローである。
 【図 6】 ATMプログラムの実行する処理フローである。
 【図 7】 カードローン取扱プログラムの実行する処理フローである。
 【図 8】 カードローン取扱プログラムの実行する処理フローである。
 【図 9】 カードローン取扱プログラムの実行する処理フローである。
 【図 10】 カードローン取扱プログラムの実行する処理フローである。
 【図 11】 ディスプレイ画面の説明図である。

- 【図 12】 ディスプレイ画面の説明図である。
 【図 13】 ディスプレイ画面の説明図である。
 【図 14】 ディスプレイ画面の説明図である。
 【図 15】 ディスプレイ画面の説明図である。
 【図 16】 カードローン申込書の説明図である。
 【符号の説明】

- 1 金融ローン申込装置
 2 融資資格判定装置
 3 データベース
 10 カード読取手段
 11 ディスプレイ
 12 問い合わせ手段
 13 取得手段
 14 表示手段
 15 発行手段
 20 入手手段
 21 取得手段
 22 判断手段
 23 通知手段

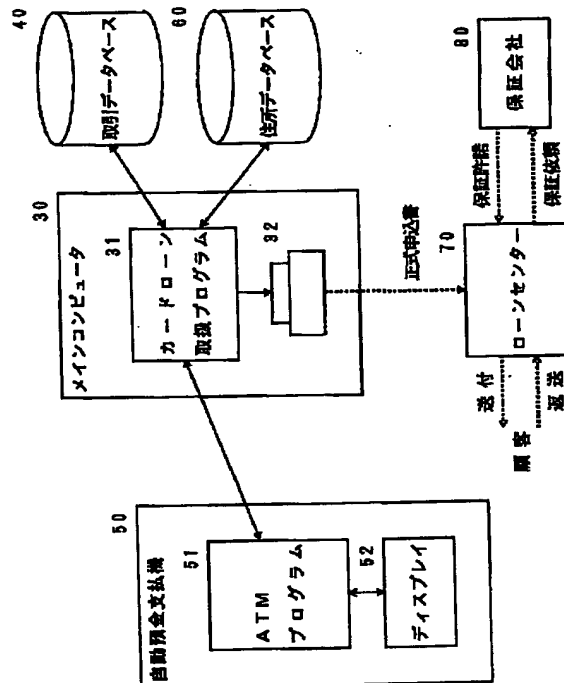
【図 1】

本発明の原理構成図



【図 2】

銀行システムの説明図



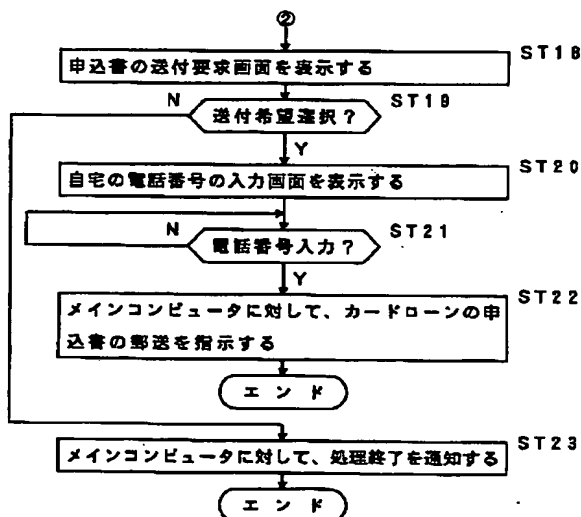
【図 3】

取引データベースの説明図

取引履歴	XXXXXX	XXXXXX
取引履歴	~~~~~	~~~~~
勤務先 (TEL)	XXXXX	XXXXX
電話番号	XXXXX	XXXXX
住所	XXX	XXX
生年月日	XXXXX	XXXXX
氏名 姓	XXX	XXX
暗証番号	XXXXX	XXXXX
支店名	XXXX	XXXX
口座番号 (通帳口座)	12345 (98765)	12345 (76543)

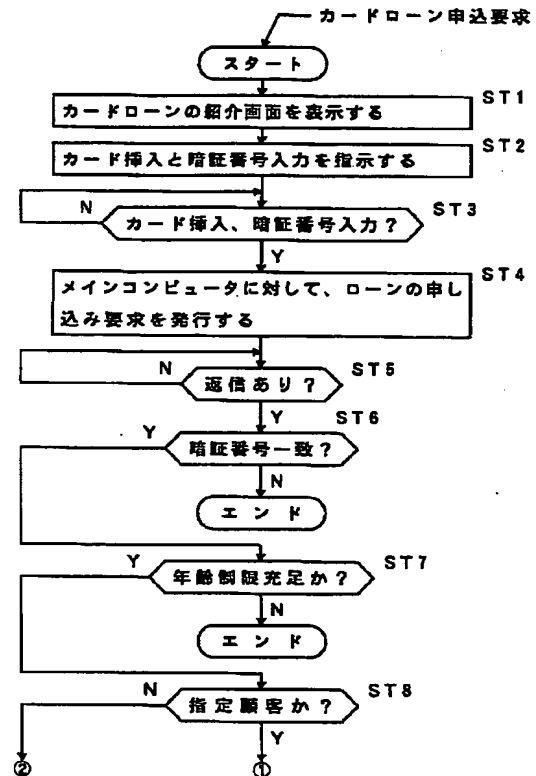
【図 6】

ATMプログラムの実行する処理フロー



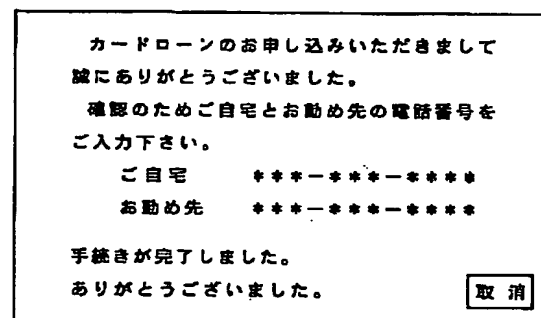
【図 4】

ATMプログラムの実行する処理フロー



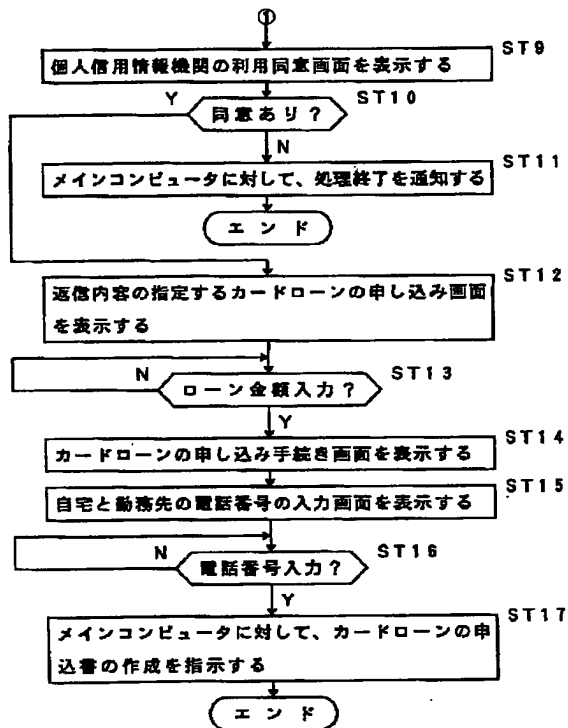
【図 14】

ディスプレイ画面の説明図



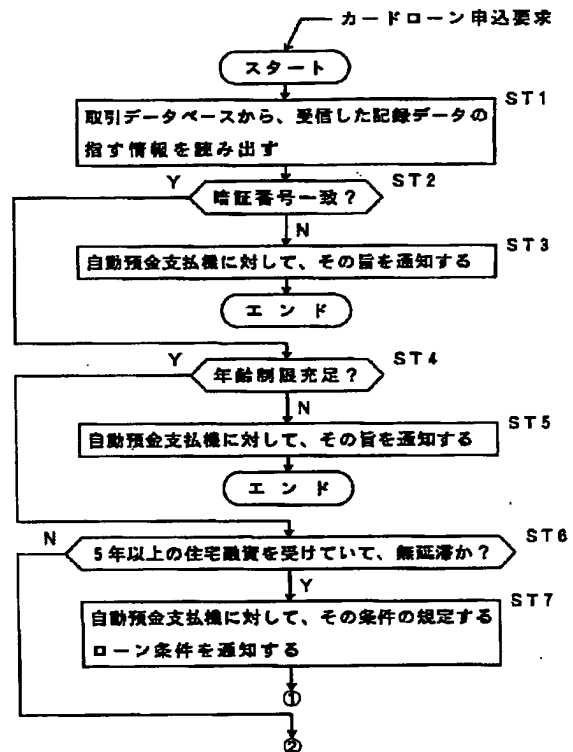
【図5】

A T Mプログラムの実行する処理フロー



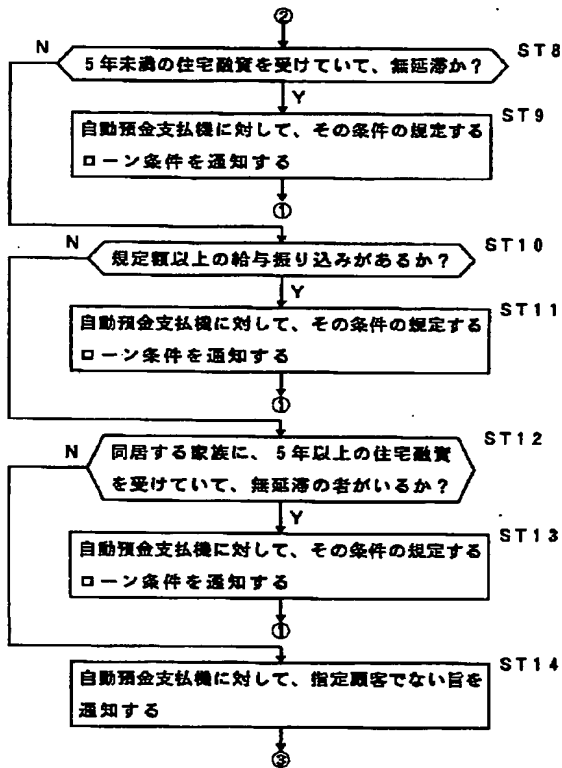
【図7】

カードローン取扱プログラムの実行する処理フロー



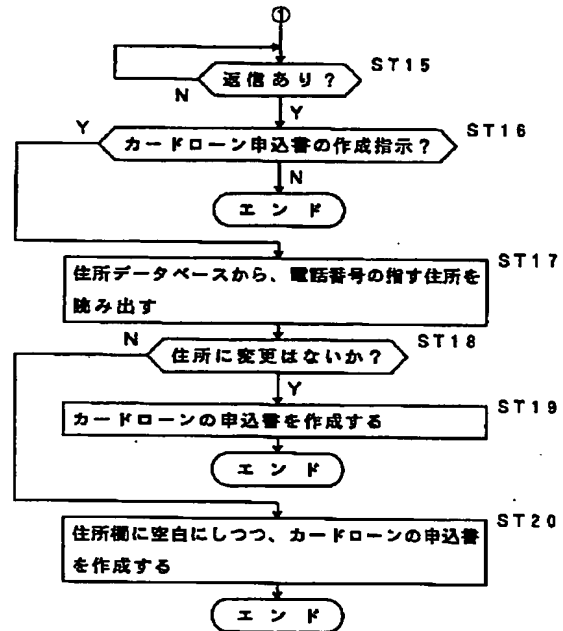
【図 8】

カードローン取扱プログラムの実行する処理フロー



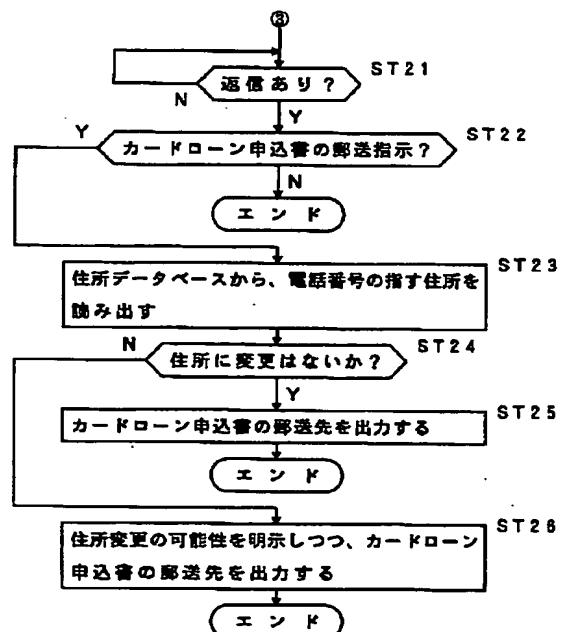
【図 9】

カードローン取扱プログラムの実行する処理フロー



【図 10】

カードローン取扱プログラムの実行する処理フロー



【図 11】

ディスプレイ画面の説明図

お預入れ	お引出し
お振替え	お振込み
通帳記入	残高照会
定期預金のお取引	クレジットローン
カードローンのお申込み	

(a)

【図 12】

ディスプレイ画面の説明図

カードを挿入し、暗証番号を入力下さい

7	8	9
4	5	6
1	2	3
	0	

取消

(a)

カードローンの商品内容のお知らせ

- 金額 10万円～50万円
- 金利 年 10.50%
- 期間 2年間（更新できます）
- 手数料 初回 口座開設手数料
2,100円（税込）
2年毎 1,050円（税込）

確認 取消

(b)

<個人情報情報機関の利用の同意について>

私は、カードローンの申し込みに関して……
……………
……………。

同意する 同意しない

*同意しない場合はカードローンの
お申し込みができません。

取消

(b)

【図13】

ディスプレイ画面の説明図

カードローンのお申し込みについて

貴方様は50万円以内のお申し込みが可能です。
金利は「年 7.50%」です。

ご希望の金額のボタンを押して下さい。

申し込み

(a)

【図15】

ディスプレイ画面の説明図

カードローンのお申し込みについて

カードローンをご希望のお客様に申込書をお送りいたします。郵便でお申込みいただけます。
申込書をご希望のお客様は送付希望のボタンを押して下さい。

契約時に、一度ご来店いただきますので
ご了承下さい。

(a)

カードローンのお申し込み手続き

勤務先および勤務年数をお電話で確認させていただきますのでご了承ください。

当行および保証会社の審査後にご自宅に郵便にて3日程度でご連絡いたします。

保証の承諾を受けられた方には同時に正式の申込書を送付しますので、ご記入後直ちに
返送下さい。

(b)

カードローンのお申込書をお送りします。

確認のためご自宅のお電話番号をご入力下さい。

ご自宅 *-*-*-*-*-*-*-*

手続きが完了しました。
ありがとうございました。

(b)

【図 1 6】

カードローン申込書の説明図

カードローン申込書					
金額	30万円	ご返済方法	均等返済	年	ヵ月
		ご返済期間	一括返済		ヵ月
フリガナ	ヤマダ タロウ	性別	男	自宅電話	045-111-8999
お名前	山田 太郎	性別	女	生年月日	S40年12月31日
ご住所					
家族状況	独身 既婚・子供()人				
住居状況	持家	社宅	賃貸	居住年数	年
お勤め先 ご職業	名称			電話	044-754-1111
	所在地				
	業種	資本金	従業員		
	所属	年数	年収		
同居家族					
フリガナ		性別		生年月日	
お名前		男・女			
お勤め先 ご職業	名称			電話	
	所在地				
	業種	資本金	従業員		
	所属	年数	年収		

フロントページの続き

(72) 発明者 松花 和昭
 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番
 1 号 富士通株式会社内

(72) 発明者 花井 保彦
 愛知県名古屋市中区錦三丁目 19 番 17 号 株
 式会社名古屋銀行内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)